企画

企画委員会より

２００８年・日本ボンド磁性材料業界推定

企画委員長　荒川　秀秋
（(株)　カネカ）

２００８年度の国内需要推定は重量で１４,３７０Ｔ、前年比１０１％、金額ベースで２６２億、前年比９７％と見ております。重量ベースではほぼ横ばいながらも、金額ベースでは減少するものと思われます。

1. フレキシブルフェライトボンド磁石

回転系が中国製品の米国ダンピング問題で日本回帰すると思われますが、ＯＡ、家電等はリジッド移行も一段落し減少が続き、全体ではほぼ横ばいと推定しております。

2. リジッドフェライトボンド磁石

２００７年はＯＡ分野がプリンター関係の伸長と磁粉出荷数量とのバランスによる上方修正から増大しましたが、市況の悪化等から２００８年はやや減少すると見ております。

3. 稀土類ボンド磁石

２００７年は３３％と大幅な伸びを示したが２００８年は回転、自動車に期待はありますが２００７年並と思われます。

2008年度国内需要

単位/T、億円、%

	金額	前年比	重量	前年比
フレキシブルフェライトボンド磁石	29	97	3,970	100
リジッドフェライトボンド磁石	142	98	9,900	101
稀土類ボンド磁石	91	95	600	100
合計	262	97	14470	101

企画

企画委員会より

内外 BM 市場動向

企画委員長　荒川　秀秋
（(株)　カネカ）

企画委員会では、２００７年度の会員会社、世界ボンド磁石討論会等のデータを元に２００８年度の年初にボンドマグネットの生産、市場動向をまとめ２００８年度の業界需要見込みを作成しております。大分類としてフレキシブル、リジッド、稀土類の３分類、中分類として映像・音響、回転、ＯＡ、家電、自動車、吸着・健康・雑貨、その他の７分類を用途別に分類しております。

２００７年度は国内業界全体で、重量で１４,３７０Ｔ、金額で２７１億の生産となり対前年２５％の伸びとなりました。プリンターを中心としたリジッドが２８％、稀土類が３３％と高い伸びを示した事が、大幅増につながっております。

一方２００８年度は国内は重量ベースで１４,４７０Ｔ、１０１％、金額ベースで２６２億、海外は３９０億円と対前年１０９％の伸びと見ております。

分類別

フレキシブルフェライトボンド磁石

重量で３,９７０Ｔ、対前年１００％、金額で２９億、対前年９７％と推定しています。海外シフトの影響で映像、回転系が前年を割るものの、ＯＡ，家電、自動車は微増ですが全体では２００７年並と見ております。

リジッドフェライト磁石

重量で９,９００Ｔ、対前年１０１％、金額で１４２億、９８％と推定しています。分野別ではＯＡは微増ですが、今後は市況悪化の影響が懸念されます。

稀土類ボンド磁石

重量で６００Ｔ、対前年１００％、金額で９１億、９５％と推定していますが、金額ベースでは昨年後半の原料値上げもあり、減少幅は小幅に留まる可能性もあります。

2008年度需要推定/金額ベース

単位/億円,%

	国内		海外		合計	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
フレキシブルフェライトボンド磁石	29	97	15	100	44	99
リジッドフェライトボンド磁石	142	98	95	118	237	105
稀土類ボンド磁石	91	95	280	108	371	104
合計	262	97	390	109	652	104